



(3) 平成27年度不法投棄対策 事業計画

平成27年度不法投棄対策事業計画

昨年度の事業方針を継続しつつ、
より効果的な施策の実施を検討

防止カメラ運営、
パトロール等

キャンペーン開催等

防止
対策

啓発
活動

事後
対策

情報
共有化

啓発看板提供
回収支援、指導等

協議会等開催
データ分析

【要点】

- ・「未然防止」「防止対策」を重点に据え、施策を検討
- ・増設した防止カメラの効果的運用

防止対策

不法投棄防止カメラの適正運営

⇒設置している不法投棄防止カメラの効果向上のため、周辺環境の整備等を実施

近隣市不法投棄対策情報交換会への参加

⇒不法投棄防止強化月間や防止アイデア、その他不法投棄に関する情報を共有することで、未然防止及び拡大防止を図る

不法投棄防止パトロールの実施

⇒日中におけるパトロールに加え、強化月間期間における夜間特別パトロール（6・12月）を実施

不法投棄防止啓発看板の設置

⇒不法投棄発生常習箇所を中心に、防止啓発看板の設置及び配布を実施



啓発活動

SNS・広報誌・HPを用いた情報発信

⇒不法投棄防止強化月間におけるホームページへの掲載，ツイッターを用いた情報発信を実施

イベント等の実施

⇒ゴミゼロ運動（5月31日実施），ぽい捨て防止キャンペーン（9月～11月実施予定）

不法投棄防止講座の実施

⇒学生を対象に，不法投棄の知識を学ぶ機会として出張講座を実施

不法投棄防止啓発看板の設置

⇒不法投棄発生常習箇所を中心に，防止啓発看板の設置及び配布を実施



事後対策

土地所有者・管理者への指導の徹底

⇒柏市不法投棄対策条例第3条「適切な役割分担等」に則り、民有地における不法投棄について、再発防止策への対応を回収条件とする（看板・柵の設置等）

不法投棄者への指導

⇒柏市不法投棄対策条例第8条「関係機関等との連携」及び第10条「勧告」に則り、関係各部署や警察署と密な情報交換等を図り、不法投棄者の特定から指導に至るまでを実施

情報共有化

対策協議の開催

⇒不法投棄対策協議会を開催し、各関係者相互の意思疎通を図るとともに、円滑な対策実施を目指す

関係団体・機関との協力強化

⇒各団体との不法投棄対策事業に対する相互協力

参考：柏市の新たな取り組み

産業廃棄物対策課により不法投棄監視スカイパトロールを実施。

朝日新聞→

不法な産廃野積み 新たに10地点確認

柏市のヘリパトロール

柏市が5月に初めて実施したヘリコプターによる上空からのパトロールで、市内に産業廃棄物を不法に野積みしている事例が10地点あることが、新たに確認された。同市は、事業者に撤去するよう指導を始め

同市産業廃棄物対策課によると、パトロールは5月15日に実施。市内全域を高さ約350メートルから調査した。その結果を元に地上で現地確認をしたところ、10地点で市産業廃棄物不適正

処理防止条例に反し、産廃が野積みされていた。市の聞き取りに対し事業者は、不法であることは認識しながら「産廃を処理する費用がなく、野積みしていた」などと答えていたという。野積みの総量などについて現在調査中だが、石膏ボードや木くずなどの建設廃材が多いという。いずれも道路からでは分かりにくい場所であり、上空からでなければ見つからない状況だったという。

同市では、産廃が不法に野積みされている件数が、昨年度末で49件あり、その後、5件は問題が解決した。なかには6千立方メートルを超えるものが5件あり、市が指導しても少しずつしか撤去が進まないケースもあるという。同課では「上空から早期に発見することで、野積みの量が増えないうちに撤去の指導ができる」といい、12月にも再度、ヘリによるパトロールを実施する予定だ。

産業廃棄物不法投棄監視スカイパトロールの実施について

市では、公用車による監視パトロールに加え、5月と12月に新たにヘリコプターによる上空からの監視パトロール（通称スカイパトロール）を実施します。

産業廃棄物の不法堆積を早期に発見し、堆積現場の早期解決と不法堆積行為の排除に取り組んでいます。

早期発見が解決のカギ！

市内には平成26年度末時点で49件の不法堆積現場があります。これらは一般的に堆積規模が大きくなるほど、解決が難しくなっていきます。

今後も、「早期発見！早期指導！！早期解決！！！」を徹底していきます。



- スカイパトロールによる効果
- 地上から確認が困難なエリアの状況確認
- 産業廃棄物の不法堆積行為の抑止

不法投棄

新たに10か所

スカイパトロールで

柏市は15日、産業廃棄

物の不法投棄を監視したスカイパトロールの結果を明らかにし、市内全域で10か所にのぼることがわかった。環境部の産業廃棄物対策課によると、上空からの監視と現地調査で絞り込んだ。不法行為者を確認次第、指導していく。行為を確認できていない場所については、引き続き、調査していくという。

市内における産業廃棄物の不適正堆積の年度別

推移をみると、平成19年の中核市移行決定で県から業務を引き継いだ平成20年で、次年度繰り越しが30件。同22年まで28件と減少傾向だったが、平成23年に37件と急増。平成26年度末で49件まで膨れ上がっている。

柏市では、今年度、不法投棄への取り締まりを強化。スカイパトロールは次回、12月を予定し、引き締めを強めていく考えだ。

柏市民新聞